

第8期里山のがっこうの開催は中止しました

2020年4月開催予定であった第8期里山のがっこう(継続組19名、新規組17名、合計36名の参加)は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止を余儀なくされました。

本活動の開催中止は、1997年に野菜の生産地である山梨県白州郷牧場で第1回「なつのがっこう」(季節開催)を開催して以降、初めてのことです。今回の里子屋便りでは、昨年度(2019年度第7期)の活動報告と併せて本年度(2020年度第8期)に予定していた活動をお知らせし、里山のがっこうの現状報告とさせていただきます。

第8期里山のがっこうでは、「がっこう」の開催目的と活動がより実態あるものとなるように以下の計画を立てました。

(1) 豊かな自然の中で夢中になって遊ぶ

がっこう部会では、「まずは子どもたちを自然の中に連れ出すことから始めよう」と里山のがっこうをスタートさせました。映像や写真で見る自然ではなく、思い通りにいかないことも含めて子どもが自然を直接感覚で感じ取り、その中で大きく育つことを大切に考えてきました。最初、子どもたちは、にゆるにゆるした田んぼの感触、ごろごろした川底の石、足元もおぼつかない森の急斜面に立ちすくみますが、慣れてしまえばしめたもので、想像もできないほどの遊びを作り出します。

その中で、子どもたちは、自然の不思議や新しい発見に触れ、驚きや疑問、感動といった感情が生まれ、それはやがて「学びの楽しさ」へとつながっていくと考えています

第8期では、村人の暮らしに触れ、その土地ならではの自然を活かした知恵や技術を知り、子どもたちとの間で教える・教えられる関係を充実させていこうと計画しました(「里の暮らしプログラム」として計画)。次年度の里山のがっこうに引き継いでいきます。

(2) 異年齢集団の多様な関係の中で育まれる他人への配慮・信頼・憧れといった感情を育てる

里山のがっこうの生活は、子どもたちとがっこう部会の組合員スタッフやがっこう生の保護者、大学生や高校生スタッフの存在等々、多様な関係に包まれています。

この中で、それぞれが役割を持ち、みんなで力を合わせて共同の生活を作ります。子どもたちは、この体験の中でいろんな感じ方や考え方があつていきなり、自分の姿を知っていきます。

他人への配慮や信頼、憧れ、喜びや挑戦といった感情(=理性)は、この異年齢集団の多様な関係(コミュニティ)の中で育っていきます。

次年度も大切な目標としていきます。

(3) 子どもたちの自主性を大切にし、参加する子どもたちが遊びや活動を計画し、展開するがっこうをめざす

里山のがっこうでは、班会議(班長・班の子ども・

スタッフ)や子ども会議(子ども全員とスタッフによる全体会議)を通してその実現をめざしてきましたが、まだ十分機能しているとはいえない状況があります。第8期里山のがっこうでは、新しい試みとして、班長会議(班長とスタッフの打ち合わせ)を立ち上げ、全体の運営について子どもたちの意見参加や関わりを強めていけるようにし、話し合いで決めたことへの自

覚が持てるように計画しました。

この課題は、次年度に引き継いでいきます。

以上の開催目的を具体化するために、下記の計画を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度第8期里山のがっこうは中止することになりました。

第8期「里山のがっこう」で予定していた活動

	月	日	主な活動内容
第1回	5	2日(土)~3日(日)	【はるのがっこう】田植え、森あそび他
第2回	6	13日(土)	「6月のがっこう」里のくらし
第3回	7	19日(日)	「7月のがっこう」森あそび
第4回	8	1日(土)	「8月のがっこう」里のくらし
第5回	9	19日(土)~21日(祝)	【残暑のがっこう】里のくらし、稲刈り、森あそび他
第6回	10	17日(土)~18日(日)	【あきのがっこう】里のくらし、星空観測、森あそび他
第7回	11	14日(土)	「11月のがっこう」伊賀有機農産の収穫祭の準備に参加
第8回	1	16日(土)~17日(日)	【ふゆのがっこう】森あそび、餅つき他
第9回	2	7日(日)	「2月のがっこう」味噌作り、里のくらしのまとめ
	3	7日(日)	閉校式(報告会、懇親会)
番外	7	4日(土)~5日(日)	和歌山県みなべ町の梅生産者山本梅農園で、梅の収穫体験

以上の活動予定は次年度の里山のがっこうに引き継いでいきます。



※「里山のがっこう」とは… 小3年~中学生までの子どもたちが里山に集い、自然に戯れ、自然から学ぶ体験の場です。毎年春に参加する子どもたちを募集して、年度生約25名が年間通して活動しています。

2019里山のがっこう活動報告【第7期のアルバムより】



田んぼ (童仙房)

春 田植え

うるち米ともち米を植えました。田んぼの中には、オタマジャクシもいっぱい泳いでいたよ

夏 草ひき

お米がしっかり実りますように。思いを込めて、草ひきをしました。田んぼにはカエルがいっぱい！生き物たちも元気に成長しています。



秋 稲刈り

カマを使って稲を刈り、束にして、はざかけです。太陽の光を浴びて、おいしくな—れ！



冬 餅つき

石臼と杵で、つきたて餅を味わいました。きなこ餅、あんこ餅、ブルーベリー餅、抹茶餅… いろいろな味を堪能しました。



畑 (伊賀有機農産供給センター)

春 畑の作付け

畝を整えて、ソバの種を蒔きました。6月には芽が出て…7月には花が咲き…



夏 収穫

実がしっかり太ったので、いよいよ刈り取りです。はざかけして乾燥したら、脱穀、唐箕掛け。最後に磨きをかけました。



秋 そば打ち

石臼で、そば粉にして… そば打ちも体験しました。種から育てたソバの味、美味しかった！





森 (仙の森)

春 夏 秋 冬

四季を通して森あそびを楽しみました

「元気な森を育てる」を合言葉に
森に入ったら、まずは森の手入れです。
集めた落ち葉や小枝は、火おこし用。
そして、堆肥にもします。

ロープ渡りや木工作、
川遊び、崖登り
くたくたになるまで
遊びました！

班のシンボルツリーに、
看板も立てました。
これからも大切に
見守ります。



星空観察、卓球大会、散策、魚釣り… 年間を通して色々なことを楽しみました

宿舎にて

演劇部による劇披露



流しそうめん



スイカ割り



キャンプファイヤー



飯ごうすいさん

